岐阜高専　第２回ＦＤ教科目連携協議会を開催

岐阜高専では，平成 26 年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」の申請が採択されたことから，本プログラムの活動として，10 月 15 日に校多目的ホールにおいて「第２回ＦＤ教科目連携協議会」を開催した。この協議会は，教育改革推進の取組の一環として今年度から企画された行事であり，年間２回の開催が計画されている。

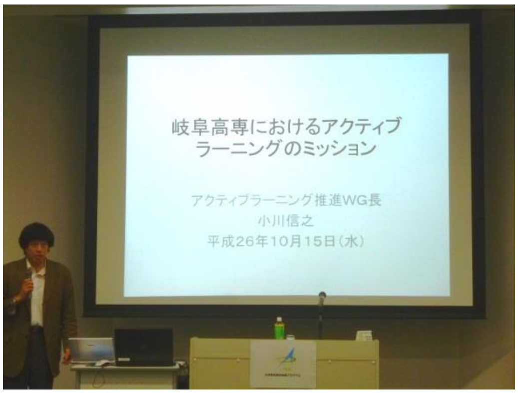
第２回目の今回は，㈱ＫＥＩアドバンス　常務取締役　藤倉雅之氏及び本校アクティブラーニング推進 WG 長　小川信之教授による２題の講演が行われ，60 名余りの教職員が出席した。

はじめに，㈱ＫＥＩアドバンスの藤倉氏が,「アクティブラーニングの事例紹介」と題した講演を行った。同氏は，アクティブラーニングは教育の「手法」であって「目的」ではない点を強調し，他校の事例は参考程度とし，学生の能動的な問題解決能力を育成する観点から，自校に合った手法を生み出すことが肝要であることを述べた。

続いて，小川教授が「岐阜高専におけるアクティブラーニングのミッション」と題して，今後のアクティブラーニングの進め方について説明した。

講演終了後には活発な意見交換が行われ，教職員のアクティブラーニングについての認識がさらに深まった。総じて，今回のＦＤ教科目連携協議会は，アクティブラーニング導入についての啓蒙と促進が図られる良い機会となった。

藤倉講師との質疑応答



講演する小川アクティブラーニング推進 WG 長